

# 豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

33

## 1 施策の概要

1-1 施策の名称	観光			基本施策コード	3 3 4
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施	産業振興課	評価票作成者 産業振興課長 成田敏和
1-3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			
	項	産業振興			
1-4 施策の目的	魅力あふれる街づくりには必要である。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
- B : 施策推進の実手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度～平成22年度)			全期間(平成23年度～平成27年度)			指標の定義
		目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	
	観光客数	441,000(人)	321,000(人)	72.8(%)	350,000(人)			市内全域のまつり及びイベントの実施状況を表す指標

## 2 施策推進の状況

3-2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	時間にゆとりのある人が増し、観光需要が増加する。	観る観光から低費用で参加でき、文化に触れ教養を高める観光が必要。	観光情報の発信が当面の課題となる。
平成19年度	〃	〃	新たな観光PRや県及び県観光協会の企画した事業に連携して取り組んだ。
平成20年度	〃	史跡案内のできる観光ボランティアガイドの育成を早い時期に実施する必要がある。	県が武将観光をテーマにしたガイドブックに桶狭間古戦場伝説地を掲載し史跡のPRに努めた。
平成21年度	〃	観光ボランティアガイド育成に向け研修会を実施したが、なるべく早い時期に活動できるよう支援する必要がある。	桶狭間古戦場について、有松地区の方々と共同で散策マップを作成するなど、人のつながりを強めることができた。
平成22年度	以前から設置を検討していた観光ボランティアが、古戦場まつりで活動を開始し活躍した。また、商工会が行う十三佛巡りの散策マップ作成に協力した。		
平成23年度	観光ボランティア活動も軌道に乗り、古戦場伝説地周辺に留まらず市内全域に活動の場を拡大する事に努めて行きたい。また、旧東海道を活用したウォークラリーを実施し市外来場者の増加に努め		
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

